

しせき ひらかわはいじあと
史跡 平川廃寺跡

【遺跡の概要】

8世紀に造営された寺院で、塔を西、金堂を東に置く法隆寺式の伽藍配置をもちます。寺域は、東西約175m、南北約115mと推定されます。塔跡の基壇は一辺が17.2mあり、国分寺の塔に匹敵する規模があります。塔跡、金堂跡の周辺からは、粘土などで形作られた塑像片が出土しており、市指定文化財となっています。

【現在の状況】

塔跡と金堂跡の範囲が史跡指定地として保存されています。

【行き方】

近鉄久津川駅から徒歩約5分
駐車場はありません。



